

令和8(2026)年度事業計画

令和 8(2026)年 3 月

一般社団法人広島県観光連盟(HIT)

目 次

1. 令和8年度全体方針	2
(1)次期5カ年戦略について	2
(2)令和8年度の基本方針について	2
(3)主な施策と予算額	3
① ブランド価値の向上につながる魅力づくり	3
② 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備	3
③ 広島ファンづくり	4
④ 3つの柱を支える土台づくり	4
⑤ 会員サービス	5
⑥ 管理費	5
⑦ 協議会	5

1. 令和8年度全体方針

(1)次期5カ年戦略について

- 観光地としての魅力を高めるとともに、観光に係る課題解決に向けて各種施策を推進するため、本年4月から宿泊税の徴収が開始される。
- 一方で、令和8年6月の策定を目的に、広島県の総合計画「安心▷誇り▷挑戦 ひろしまビジョン(R3~12)」の改定作業が進められている。
- さらに、HIT の活動指針となる「ひろしま観光立県推進基本計画(R5~9)」の改定作業も本年中に着手される。
- こうしたことを踏まえ、観光を広島の主要産業に育てるためには、総合計画等の県の基本方針のもと、広島県観光連盟が司令塔的な役割を果たし、市町や観光協会・地域DMO 等と連携したオール広島で観光振興に取り組むことが重要であることから、県における計画の改定の議論等を踏まえながら、次期5カ年戦略を検討する。

(2)令和8年度の基本方針について

- 当面の間、これまでの取組の成果や課題を踏まえ、県内各地域の観光地としての魅力を更に高めるとともに、県内各地域への周遊を促進するため、新規事業・拡充事業には宿泊税を活用し市町や観光協会等と連携しながら、「①磨く」→「②つなぐ」→「③伝える」→「④届ける」を基本方針に、次の4つの柱で取り組む。
 - ① ブランド価値の向上につながる魅力づくり
 - ② 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備
 - ③ 広島ファンの増加
 - ④ 3つの柱を支える土台づくり
- なお、県の各計画の改定作業の過程において、施策の方向性に変更が生じた場合や、新たに取り組むべき課題が生じた場合は、事業内容を適切に見直すこととする。

「磨く」…… 魅力的な観光コンテンツの品揃えの拡大と高付加価値化するため、既存の観光コンテンツや、食伝統・文化・芸術、産業など地域固有の資産をターゲットとなる観光客の顕在的、潜在的にニーズを捉え、観光コンテンツとしての魅力をアップさせる。

「つなぐ」… 周遊ルートの価値を裏打ちするテーマやストーリーを設定するため、磨かれた観光コンテンツと相乗効果や補完効果がある他の市町の観光コンテンツを互いに組み合わせ、テーマやストーリーを策定し、周遊ルートを設計する。

「伝える」… 観光客のコンテンツ情報に対する反応を高めるとともに、より効果的に訴求するためのメディアノウハウの蓄積に向けて、各市町の個々の観光コンテンツの魅力、市町をまたぐ周遊ルートが持つテーマやストーリーといった楽しみ方という価値を、デジタル情報や冊子など、適切な媒体を選択した上で、観光客のニーズに応える情報を、自前・他社メディアを通じ適時に配信する。

「届ける」… 観光コンテンツの販売網の拡充や、観光客のニーズに応じた売れる価格設定等のノウハウを蓄積するため、磨き、つないだ観光コンテンツ、そこに紐づくテーマやストーリーをパッケージ化した観光商品を、観光客が欲しい時に旅行商品を購入できるよう、魅力的な価格設定、購入の利便性(OTA・旅行代理店等)を向上させる。

(3)主な施策と予算額

① ブランド価値の向上につながる魅力づくり 157,891 千円(うち宿泊税 65,000 千円)

目的:県内全域への周遊を促進していくため、令和8年度においては、県内各地域の自然や食、文化など多彩な地域資源を活用した魅力づくりや高付加価値化、主要観光地からの周遊ルートの形成などに市町や DMO 等と連携して取り組む。

■主な施策

- ・ 観光プロダクト開発プラットフォーム(HYPP)において、県内各地に設置したエリアパートナーとともに、地域の魅力向上に資する観光プロダクトの開発販売に向けた支援と磨き上げ等を行う。
- ・ HYPP で生まれたアイデアを具現化するため、資金支援を必要としている事業者に対してプロダクト開発のための補助金を交付するとともに、専門家による相談、伴走支援、観光大使による体験モニターを実施する。
- ・ 地域の観光資源を生かし、本県でしか得られない価値を、歴史や文化、自然、産業などのテーマやストーリーで繋いだ周遊ルートの形成及び情報発信、販路拡大を実施する。【新規(宿泊税)】
- ・ 主要観光地から周遊を促進し、滞在時間の延長等につなげるため、選定エリアにおいて市町等と連携して観光地の魅力向上に繋げるための計画を作成し、計画に基づく取組を支援する。【新規(宿泊税)】

② 誰もが快適かつ安心して楽しめる受入環境整備 228,767 千円

(うち宿泊税 129,835 千円)

目的:県域全体で行うべき広域的な施策や将来の二次交通の充実化に向けた取組など、ソフト・ハード両面から受入環境の充実を図る。

■主な施策

- ・ 飲食店やホテルにおいて、ベジタリアン・ヴィーガンをはじめとした食の多様化に対応できるよう、研修会及びメニューの新規開発を支援する。
- ・ 広島を訪れる観光客の満足度を高めるとともに、高齢者や外国人、障害者を含めたすべての観光客が楽しめる観光地を目指し、宿泊施設や観光施設等のユニバーサル化などを支援する。【新規・宿泊税】
- ・ キャッシュレス決済の導入など、観光施設・宿泊施設等のDXに資する施設整備を支援する。【新規(宿泊税)】
- ・ 外国人観光客の満足度向上や県内周遊促進の担い手となる広島県地域通訳案内士について、現在の対象言語を拡充し、ニーズに応じた通訳ガイドを育成する。【拡充(宿泊税)】
- ・ 地域通訳案内士の稼働率を高めるため、活動に意欲があるものの、現場経験がなく活動をためらっている地域通訳案内士に向けて、OJT を中心とした研修の実施する。
- ・ 【新規(宿泊税)】

- 広島の魅力外国人観光客に伝えるため、神楽や日本酒など県内各地にある伝統文化・自然などの魅力や体験型コンテンツを案内できるガイドを育成【新規(宿泊税)】
- 今後の二次交通施策の立案に向けて、市町やバス・タクシー・レンタカー・フェリー等の交通事業者へのヒアリング調査等を実施する。【新規(宿泊税)】

③ 広島ファンづくり 506,216 千円 (うち宿泊税 146,286 千円)

目的:観光消費額の増加に向けて、マーケティングに基づき、観光客の増加や新たな市場を含む外国人観光客の更なる誘客に取り組む。

■主な施策 [国内]

- 観光地としての広島県の認知・理解を高めるため、オウンドメディア(観光 HP、SNS (Instagram、X)等)の運用やマスメディアとのタイアップ等により、旬の観光情報を効果的に発信する。
- HIT ひろしま観光大使の活性化により、広島観光情報の拡散を図る。
- 伸び悩む国内観光客の誘客に向けて、特に回復の遅れている近隣県・関西エリアからの誘客を図るため、来訪者の主な移動手段である自家用車や鉄道利用者をターゲットに、交通関連事業者及びオンライン旅行会社等と連携したプロモーションを実施する。【新規(宿泊税)】

■主な施策 [海外]

- 重点市場における商談会や旅行博等の現地イベントへの出展、航空会社や海外オンライン旅行会社と連携したプロモーションを実施する。
- 関西、福岡及び首都圏からの流入率の増加に向けた、交通事業者(鉄道・航空)や県域を越えた DMO など観光団体と連携したプロモーションを実施する。
- 口コミや訪問先のレビュー掲載を促すなど、インフルエンサーや在広外国人を対象とした FAM ツアーを実施する。
- 訪日数の伸び率や広島への訪問率・日帰り率などが高い国を新規市場に位置付け、オンライン旅行会社と連携したプロモーションや現地イベントへの参画などの PR 等を実施する。【新規(宿泊税)】

④ 3つの柱を支える土台づくり 205,887 千円(うち宿泊税 119,083 千円)

目的:観光人材の育成・確保、経営改善への支援や、人流データを活用したマーケティングの強化などに取り組む。

■主な施策

- 「広島県の観光客数の動向」や「広島県観光地点パラメータ調査」などの基礎調査を継続実施し、観光戦略や個別施策に必要なデータの収集と活用を促進する。
- 観光客の期待を超えた満足度の高いサービスを提供に向けて、宿泊・交通・飲食等の団体が主催するホスピタリティ研修に対して、経費の一部を支援する。【新規(宿泊税)】

- ・ 頻発する災害へ備え、観光レジリエンスセミナーなどの事業継続に向けた研修の開催【新規(宿泊税)】
- ・ 市町や観光協会等のニーズを踏まえた観光客の人流データの入手・行動分析等を行い、市町等共有するとともに、観光客の誘客、県内周遊に向けた施策の立案・実施・検証に活用する。【新規(宿泊税)】

⑤ 会員サービス 6,498 千円

目 的:観光関連情報を収集し、会員に共有するとともに連携を強化する。

■主な施策

- ・ 国・県等からの観光関連情報や、会員が情報発信を希望する場合など、メールなどを利用した情報発信を行う。
- ・ 市町や観光関係団体が主催する各種行事・会議等へ参加し、意見交換や情報交換を行う。
- ・ 会員、観光関連団体が行う観光振興事業について、後援・協賛を通じて支援する。

⑥ 管理費 217,201千円

目 的:職員の個々の持てる力を最大現発揮できる職場環境に構築による組織力強化

■主な施策

- ・ 定型・定例業務への RPA¹の拡大、BPR²の実施と BPO³を検討する。
- ・ 多くの職員が関与した職員採用を実施する。
- ・ 「ミッショングレードに応じたオンライン研修、個々の職員がスキルアップを目指して取り組む任意研修を実施する。
- ・ アンケート等を通じた職場環境を改善する。
- ・ いよぎん広島ビルへ事務所を移転する。【新規】

¹ Robotic Process Automation の略で、ロボットによって業務を自動化できるシステムのこと。

² Business Process Re-engineering の略で、業務プロセスを抜本的に見直し、再構築することで業務効率化や生産性の向上を目指す業務改革の手法のこと。

³ Business Process Outsourcing の略で、業務プロセスの一部を、企画・設計から実施まで含めて外部に一括して委託すること。

⑦ 協議会 11,710 千円⁴ 注)予算額は4つの柱の内数

ア 広島県観光ボランティアガイド協議会 620 千円(総事業費 1,490 千円)

ボランティアガイド又は有償ガイドとして活動する29団体、792名で構成される組織の事務局運営

イ DISCOVER WEST 連携協議会 5,000 千円(総事業費 30,000 千円)

中国5県と JR 西日本が連携し、首都圏から西日本エリアへ東海道新幹線を活用した誘客施策を実施

ウ ひろしま雪山誘客促進協議会 7,300 千円(総事業費 13,000 千円)

スキー場を有する自治体と連携し、冬季誘客プロモーションやイベントを実施
工 広島県・島根県観光連盟協議会 4,400⁵千円(総事業費 8,900 千円)
広島・島根両県の相互誘客に向けたプロモーションを実施

⁴ 予算額は4つの柱の内数である。

⁵ 広島県・島根県観光連盟協議会への負担金は、広島県が負担しているため、予算額に含まない。